

# 平成22年度事業報告書

## 事業の概要

平成22年度は、次の事業を実施した。

### 1. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を内容とする「心と社会」を次のとおり発行した。なお141号と142号は精神保健思想の啓発普及事業として(財)JKAより競輪公益資金の補助を得て1,200部を追加発行した

- ① 140号(平成22年6月15日発行) 168頁 2,100部  
特集 メンタルヘルスの集い(第24回日本精神保健会議)  
「身近に考えよう!老いについて～お年よりを支え、お年よりに学ぶ～」
- ② 141号(平成22年9月15日発行) 138頁 3,200部  
特集 第57回精神保健シンポジウム(秋田)  
「発達障害者の支援を考える～医療、教育、行政の立場から～」
- ③ 142号(平成22年12月15日発行) 136頁 3,200部  
特集 現在のうつ病論
- ④ 143号(平成23年3月17日発行) 140頁 2,000部  
特集 第58回精神保健シンポジウム(浜松)  
「子ども虐待:子どもの命とところを守る」

### 2. 精神保健福祉関係冊子の出版

① 学校とメンタルヘルスに関連した問題を取り上げる「こころの健康シリーズV」(B5判8頁)を以下のように発行した。発行後ホームページに掲載した。

#### No.1 学校メンタルヘルスについて考える

—いま、子どもたちの間になにが起こっているのか—

中部学院大学大学院教授 吉川武彦 著  
平成22年6月発行 3,000部

#### No.2 不登校問題の現状と教育課題としての新たな取り組み

東京学芸大学教授 小林正行 著  
平成22年9月発行 3,000部

#### No.3 「生きる」力の基盤である豊かな心を育てる具体的手立てを!

順天堂大学大学院教授 大津一義 著  
平成22年12月発行 3,000部

#### No.4 ひきこもり化をもたらす学校教育

明星大学大学院教授 高塚雄介 著  
平成23年3月発行 3,000部

### 3. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の精神保健関係団体と共催で、地域が直面する精神保健に関する課題をテーマにシンポジウムを開催しているが、本年度は下記のとおり実施した。

#### ①第57回精神保健シンポジウム（秋田市）

日時：平成22年6月19日 10:15～16:15

会場：秋田県総合保健センター

共催：秋田大学大学院医学系研究科医学専攻精神科学講座（清水徹男教授）

テーマ：発達障害者の支援を考える～医療、教育、行政の立場から～

内容：映画上映「彼女の名はサビーヌ」

解説 武村尊生（秋田大学大学院医学系研究科医学専攻精神科学講座）

基調講演「発達障害の理解と支援～自閉症スペクトラムを中心に～」

武田 篤（秋田大学教育文化学部障害児教育講座教授）

シンポジウム「発達障害者の支援を考える」

渡部泰弘（秋田県立医療療育センター）

佐藤博司（秋田県教育庁特別支援教育課）

水俣健一（市立秋田総合病院精神科）

澤井ちはや（秋田県発達障害者支援センター ふきのとう秋田）

参加者：115名

#### ①第58回精神保健シンポジウム（浜松市）

日時：平成22年11月23日 10:40～16:30

会場：アクティシティ浜松コンgresセンター

共催：浜松医科大学精神神経医学教室（森則夫教授）

浜松医科大学児童青年期精神医学講座（杉山登志郎教授）

テーマ：子ども虐待への対応～子どもの命とところを守るために～

内容：講演

「子ども虐待：子どもの命とところを守る」

杉山登志郎（浜松医科大学児童青年期精神医学講座教授）

「子どもの虐待死はなぜ起きるのか」

西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部教授）

「Stop ぎ・性的虐待～性的虐待の防止と癒し～」

奥山眞紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部長）

「子ども虐待の後遺症とその治療：愛着障害、解離、非行」

田中 哲（東京都立小児総合医療センター副院長）

「子ども虐待の社会経済学～子どもの視点から～」

和田一郎（茨城県県南県民センター県民福祉課地域福祉室主任）

「里親の子育て日記」

徳田絵美（ファミリーホームわたしん家）

総合討論

参加者：177名

4. メンタルヘルスの集い(第25回日本精神保健会議)の開催

精神障害者を支える家族の負担は筆舌に尽くし難く、援助を求めても得られない状況を改善すべく、その現状やニーズを把握し、家族が求める家族の支援について、私達や行政は何をすべきかを考えるフォーラムを開催した。

本フォーラムは精神保健思想の啓発普及事業として(財)JKAより競輪公益資金の補助を得て実施した。

日 時：平成23年3月5日 10:00～16:00

場 所：有楽町朝日ホール

テーマ：支えられて(手)、支えて(手)!

～家族が求める家族支援～

内 容：特別講演「私は仕事も家族も決してあきらめない」

佐々木常夫(東レ経営研究所特別顧問)

特別報告「精神障害者を支える家族の現状とニーズ」

西田淳志(東京都精神医学総合研究所)

シンポジウム「家族が求める家族支援」

〈シンポジスト〉

野村忠良(東京都精神障害者家族会連合会会長)

野村義子(東京兄弟姉妹の会)

岡田久実子(さいたま市精神障害者家族会もくせい会会長)

千葉信子(たんぽぽ訪問看護統括所長)

三橋良子(百合丘地域生活支援センターゆりあす所長)

〈コーディネーター〉

大塚淳子(日本精神保健福祉士協会常務理事)

四方田清(順天堂大学スポーツ健康科学部准教授)

参加者：518名

5. ホームページの内容を充実し、精神保健に関する情報を豊富にして、社会の啓発、精神障害への偏見是正に資した。

6. 日本精神保健福祉連盟の一員として国内の精神保健福祉諸団体と協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。さらにWFMH日本支部と情報交換を行った。

